

年間授業計画

東京都立東高等学校 令和7年度 年間授業計画 (1学年)

教科 : 芸術科 科目 : 書道Ⅰ

対象学年組 : 1年1～6組

教科担当者：立川 康子

使用教科書：「書Ⅰ」光村図書

教科の目標 :

【知識および技能】

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するため基礎的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり、芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく姿勢の基礎を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標

【知識および技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の内容の理解、書の内容の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する。書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書の見え方を感じ取り、意図に基づいて構想したり、書の伝統と文化や価値を考え、書の内容を捉えたりできるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、書を愛好する心情を育み、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価基準	知	思	態	配当時間
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	書写、書道の基本を理解する。 漢字の書の歴史を理解し、書の美に関心を持つ。	姿勢、執筆法、用具用材の扱い方 漢字の書の変遷			○	○	用具用材等の基本的知識を理解し、執筆法を身につけたか。漢字の歴史を理解し、各書体を鑑賞できたか。	○	○	○	26
	楷書の特徴を理解し、字形や筆法を学ぶ。	楷書（古典）の鑑賞と臨書			○	○	楷書の美しさ等を味わい、古典に基づく基本的な用筆の技能、字形や校正を生かした表現を身につけることができたか。	○	○	○	
	楷書の古典の書体や書風に即した用筆、全体の構成について構想し工夫する。	楷書の創作			○		楷書の古典の書体が、書風に即した用筆で全体の構成について構想し、工夫しているか。楷書の良さを味わって捉えているか。	○	○	○	
	漢字と仮名の調和した表現を理解し、意図に基づいた表現を構想し、工夫する。	漢字仮名交じりの書 創作と鑑賞	○	○		○	漢字と仮名の調和した書に関心を持ち、主体的に意図に基づく表現の工夫をして作品制作に取り組めたか。	○	○	○	
2 学 期	篆書の特徴を理解し、字形や用筆法を学ぶ。	篆書（古典）の鑑賞と臨書			○	○	篆書の字形、特徴を理解し、藏鋒による用筆法が表現できたか。	○	○	○	28
	篆刻の技法を学ぶ。	篆刻印の作製			○		篆書の字形を捉え、主体的に篆刻の幅広い表現の学習に取り組むことができたか。	○	○	○	
	行書の特徴を理解し、字形や筆法を学ぶ。	行書（古典）の鑑賞と臨書			○	○	行書の特徴を理解し、美しさ、良さを捉え、筆脈を重視した用筆の表現ができたか。	○	○	○	
	紙面構成等を工夫した創作の表現を学ぶ。	行書の創作（鑑賞）	○	○		○	行書の鑑賞や臨書での学習をふまえ、主体的に行書体を生かした表現や構成の工夫ができたか。作品の良さを味わうことができたか。	○	○	○	
3 学 期	仮名（古筆）の成立、変遷を理解し、表現技法を学ぶ。	古筆の鑑賞と臨書（平仮名、変体仮名、連綿、散らし書き）			○	○	仮名の歴史と表現技法を理解し、表現できたか。仮名の書の美しさを楽しむことができたか。	○	○	○	16
	古筆を生かした創作の表現を学ぶ。	仮名の書の創作と鑑賞（俳句等）			○	○	主体的に古筆を生かした仮名の表現の構成や工夫ができたか。鑑賞力を高め、書の伝統と文化の理解を深めることができたか。	○	○	○	
								合計			90